

聞き手:稲増龍夫(自主マスコミ講座代表顧問)

2020年4月アナウンサー入社

阿部 叶	富山テレビ 法学部/法律学科
大角 怜司	新潟総合テレビ21 文学部/史学科
川地 洋平	毎日放送 社会学部/社会学科
小園 秀汰	南日本放送 アナ 文学部/日本文学科
川邊 世里奈	高知さんさんテレビ キャリアデザイン学部/キャリアデザイン学科
小松崎 花菜	名古屋テレビ 社会学部/メディア社会学科(当日欠席)
篠田 愛純	山口朝日放送 キャリアデザイン学部/キャリアデザイン学科
松下 由依	九州朝日放送 法学部/法律学科
森尾 絵美里	岩手めんこいテレビ キャリアデザイン学部/キャリアデザイン学科



ワンチームの精神がアナウンサーへの夢を実現させてくれた

**稲増** 今日自主マスから全国各地のアナウンサーに内定した講座生たちを集まってもらいました。まずは学部氏名と内定先の放送局を教えてください。

**川地** 社会学部の川地洋平です。内定先は大阪の毎日放送です。

**森尾** キャリアデザイン学部の森尾絵美里です。内定先は岩手めんこいテレビです。

**大角** 文学部の大角怜司です。内定先は新潟総合テレビ21です。

**阿部** 法学部の阿部叶です。内定先は富山テレビです。

**篠田** キャリアデザイン学部の篠田愛純です。内定先は山口朝日放送です。

ですが、大学4年間、地元を離れて東京で生活してふるさと新潟の良さを改めて認識したこともあって、今度は、新潟の魅力を全国に発信したいという思いが強くなったことをアピールしました。

ちなみに私は、レギュラーにはなれなかったですが、体育会の硬式野球部だったので、それはそれで得難い経験ができたのですが、自主マスに入って、体育会系の学生とはまったく違うタイプの学生たちと出会えたことで、人間的な幅が広がったことは、これからアナウンサーとしてさまざまな方々と接する上で、大きなメリットになったと思っています。

**松下** 私も地元で就職できたのですが、何より、両親に喜んでもらったのと、知り合いから「楽しみにしているよ」と声をかけてもらえるのが嬉しいですね。せっかく地元局に就職できたので、私も大角くんと同じように、福岡の魅力を県外の方々に伝えて、行ってみたい、住んでみたいと思っていただきたいです。同時に、あまり取材されなかった小さな地域に寄り添ったきめ細かい取材をして、その地域の発展や振興に貢献したいですね。

自分をどうアピールするのか

**稲増** アナウンサーになるためには、もちろん、原稿読みなどの基礎技術も必要だけど、実際は、自分の軸がはっきりしていることが求められ、そうなるとうやうや自分をアピールするかが大事になってくるよね。

**小園** 自分は出版社志望だったので、最初はアナウンサーになることはまったく考えていませんでした。が、1年の春から自主マスに入って、いろいろな講師の方々の話をうかがったり、個性豊かな自主マス生と接するうちに、アナウンサーという仕事に魅力を感じ出しました。ただ、振り返ってみると、私はプロレス研究会で学生プロレスに熱中していたくらいで、人前でパフォーマンスすることが好きだったので、実は、向いていたのかなと思うようになったのです。実際、学生プロレスの話は面接の際にとても関心を持たれたい自己アピールになりました。自分自身の進路に関して漠然とした思いしかなかったので、

**川邊** キャリアデザイン学部の川邊世里奈です。内定先は高知さんさんテレビです。

**松下** 法学部の松下由依です。内定先は福岡の九州朝日放送です。

**小園** 文学部の小園秀汰です。内定先は鹿児島県の南日本放送です。

**稲増** 以上8名に加え、今日所用で参加できなかった社会学部の小松崎花菜が名古屋テレビに内定しました。この9名という数字は、毎年、全国で民放アナウンサーになれるのが100名程度と言われているので、ほぼ1割にあたり、おそらく大学別に言っても、全国1位か2位になると思います。近年でも大変頑張った代と言えます。

**全員** ありがとうございます。

アナ試験の早期化と長期化

**稲増** 一番早く内定したのは川地だったね。

**川地** 3年の秋にフジテレビの最終試験に落ちて、その後、毎日放送も最終前で一度落とされたのに、辞退者が出て繰り上がり、そこからの逆転劇で内定しました。それが一昨年の12月です。

**稲増** アナ試験は年々時期が早まり、今や、東京、大阪、名古屋は、早ければ3年の夏休み前に内定が出るわけで、4年になるまでには、ほぼ終わっているからね。一方で、地方局だと、卒業直前まで採用試験があったわけで、最後まで頑張ったのは誰かな。

**川邊** 私だと思います。アナウンサー一本で全国60社を受け、最終的に高知で内定したのが昨年の12月だったので、1年半、全国の放送局を受けまくりました。だろーし、何より精神的にキツかったですよ。

**稲増** 川地と比べると、丸1年長く就活していたわけ、実際、全国をまわるとなると、お金もかかっただろうし、何より精神的にキツかったですよ。

自主マスに入って、自分の進むべき道を見つけ出せたことは本当によかったと思っています。

**稲増** 自己アピールで、たとえば留学体験を売りにする子も多いけど、面接をする側からすると、よほどユニークな体験談でも話さないと、「またか」という反応になっちゃうんだよね。受験者の2割から3割は留学を売りにするらしく、目立たないんだね。その点、学生プロレスを受けたらうね。人とかぶらない話はおもしろいよね。

**篠田** 自分とどう向き合うかという点で、女子学生の場合は、メイクやファッションのアドバイスをもらえたのは大きいですね。学生同士だとデリケートな問題なので、なかなか指摘しあえなかつたりするのですが、先生方からズバリ言っていたかと、納得できることも多いし、自信にもなりました。実際、服装やメイクを変えると、講座生同士だと、普通の友だちだったら絶対に言えないような忌憚のない意見をもらうことができ、これは、お互いが「アナウンサーになりたい」という共通の目標を目指しているからこそ言えるわけで、本当に役に立ちました。

**稲増** それこそ、他人から見たら、デイスっていると思われたとしても、講座生同士の信頼から生まれる言葉だから、「自分のために言ってくれてるんだ」と、前向きに受け入れられるんだよね。自主マスが、長年、結果を出し続けているのは、まさに、この「ワンチーム」の絆があるからなんだよね。

**小園** われわれは、4月から全国に散らばってしまいうけど、逆に、全国に「心のふるさと」が広がったよううけど、お互いに訪問し合うのが楽しみです。

アナウンサーとしての抱負

**稲増** そう言えば、森尾は、3・11の震災を実際に体験して、そして今回、岩手のテレビ局に就職するわけだけど、今の気持ちはどうですか。

**森尾** 私は、中学1年の時に、茨城の牛久市で被災しました。東北に比べて、被害は少なかつたとはいえず、かなりの衝撃を受け、家族とともに、母の実家である兵庫に避難してしまっただけですね。どこかで、その負い目があったので、縁あって、岩手のテレビ局にアナ

**川邊** 全国受験を覚悟して、3年までにアルバイトでお金を貯めておいたのですが、最後は足りなくなつて親に借りることになってしまいました。ただ、どうしても「アナウンサーになりたい」だったので、半分は意地になっていたのですが、後半は先輩や同期の自主マス生の支えがあったので、私はあまり人に頼るタイプではなかったのに、講座の仲間がいろいろ励ましてくれたり、アドバイスもしてくれたりしました。自主マスに入っていないから、早々にアナウンサーを諦めていたと思います。本当に自主マスのおかげです。

地方局受験の戦いかた

**稲増** 今年はさまざまな地方局に入社して、地元の内定した松下と大角以外は、住んだこともない県に行くわけだけど、そこまでしてもアナウンサーになりたかったわけ？

**阿部** 自分は付属校(二高)なので、必ずしも最初から地方までと思っていただけではなかったですが、講座で先輩方の話を聞くなどして、どこでアナウンサーになっても仕事の魅力は一緒だと思ったので、受け続けました。むしろ、受験の際に「どうして。縁もゆかりもない富山の放送局を受けた」という質問がきっかけです。

**稲増** どう答えたの。

**阿部** 最初は「祖父父母の住む千葉に似ていて」と無理やり答えていたら、「どこも田舎はそうだよ」と切り返されたので、正直にテレビ局でアナウンサーになりたいからと言いつつ、その上で、地方局を受ける際は、できるだけ前日には現地に入り、スーパーやサウナ施設などの県民の生活が見える場所を訪れ、そこでふれ合いのエピソードを話して、「富山が好きになりました」と熱くアピールしました。

**稲増** アナ受験者は全国津々浦々受けるケースが多いし、局としても、それはわかっているけど、地元出身者は有利と言われているけど、阿部のように、ちょっとした手間を惜しまずに積極的に行動すること、やる気を認めてもらえるんだよね。

**大角** 私の場合は、地元テレビ局に内定できたの

ウンサーとして就職することになって、当時は何もできずに逃げ出してしまったことを後悔していたので、来年で震災10年目を迎えるにあたって、あらためて、正面から震災復興と向き合って報道したいです。

**稲増** いま進行形のコロナ問題にしても、社会の最前線で情報を伝える役割は大きいし、責任も重大だよ。最後に、アナコースを代表して、川地から今後の抱負を話してください。

**川地** 最後は荷が重いけど、ともかく、大阪の視聴者の方に愛されるアナウンサーになるべく努力します。ちょうど2025年に大阪万博があるので、その時には「毎日放送の顔」になれるように研鑽したいと思っています。同時に、これから、テレビやメディアの状況が大きく変わっていくだろうから、常識にとらわれず、時代の変化に即応できるアナウンサーになりたいと思っています。

**稲増** ネットの台頭でマスコミへの不信感も広がっているけど、決して、おごることなく、視聴者目線で情報を伝える責任を忘れずに頑張ってください。

